

2015年度

## A 世界史問題

### 注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はⅠ～Ⅲとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

#### マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しくずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I. 次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

昨今、アジアの国際環境の変化を理由に、同盟について議論されることが多いが、世界史上において、国家や政治勢力はどのような場合に同盟を結んできたのであろうか。

同盟締結のきっかけのひとつは、強力な敵の存在である。ギリシアでは、東方のペルシアの脅威に備えるため、紀元前5世紀にデロス同盟が結成された。また、中国戦国時代、戦国の七雄と称された7カ国の中から秦の勢力が突出すると、他の6カ国はこれに対抗するため連合した。1167年にイタリアで成立した（イ）同盟は、神聖ローマ皇帝の北イタリアへの南下政策に対抗するために結ばれた都市の同盟である。

また、同盟は、より強い勢力が周囲の勢力を従えるという形を取る場合もある。前6世紀にギリシアで成立したペロポネソス同盟は、強大な軍事力を誇ったスパルタが周辺のポリスを従えて成立した同盟であり、ペロポネソス戦争においてアテネを破ってギリシアの支配権を掌握した。前4世紀には、ギリシアを掌握したマケドニアのフィリッポス2世が、スパルタをのぞく全ギリシアのポリスの同盟をつくってそれらを支配下に置いた。イタリア全土を支配下に置いたローマは、征服した都市と個別に同盟を結んだ。日米同盟など、現代の東アジアでアメリカと各国が個別に同盟を結んでいる体制にも、強国とその周囲の国々の同盟の構図を見て取ることができる。

こうした軍事バランスを重視する同盟に対し、共通の価値観を核に結成される同盟もある。例えば、分立していたギリシアのポリスは、神殿や祭典を維持するための隣保同盟を結んでいた。しかし、共通の価値観に基づく同盟は、ギリシア人が異民族をバルバロイと呼び自民族を（ロ）と称して区別したように、異質な集団を排除する機能を持つこともある。1815年にロシア皇帝（ハ）が主唱した神聖同盟は、キリスト教的同胞愛に基づくことで多くの君主の賛同を得たが、同時にフランス革命によって高揚した自由主義や国民主義に対抗する君主の同盟という色彩を帯びていた。米ソが展開した冷戦では、双方が自らの価値観に同調する勢力を従えて、相手側と対立した。

このように、古代から現代に至るまで、同盟は様々な国家や政治勢力によって、自身の勢力を大きくし、平和を守る手段として利用されてきたが、勢力の均衡による平和はもろく、瓦解することも多い。二大陣営が対立した第一次世界大戦の反省から国際連盟が結成されたが、連合国と枢軸国の対立による第二次世界大戦の発生を防ぐことはできなかった。2度の大戦では同盟関係によって大国が2つの陣営に分裂し、相互に悲惨な戦いを繰り返すことになったのである。

第二次世界大戦の経験を踏まえて、新たに平和維持の仕組みの再構築がはかられた。大

戦の戦勝国が中心になって築かれた<sup>13)</sup>国際連合は、2014年1月現在、193カ国が加盟する組織に成長した。また、通貨の統合などを試みる<sup>14)</sup>ヨーロッパ連合の取り組みも興味深い。一方、スイスは永世中立国として約200年の平和を維持してきた。

<sup>15)</sup>冷戦期には、同盟国を率いて相互に対立した米ソ両超大国から距離をおく試みもなされた。1954年に中国とインドの指導者によって平和五原則が提唱され、1955年にはアジア・アフリカ会議が開催された。また、1961年には<sup>16)</sup>第1回非同盟諸国首脳会議が開催された。

米ソ冷戦は終結したが、最近では<sup>17)</sup>中国の経済成長が世界秩序を変える可能性が指摘される。これからの時代においても、人類は<sup>18)</sup>同盟の歴史に学び、世界平和を維持するための努力を続けなければならない。

A. 文中の空所(イ)～(ハ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～18)にそれぞれ対応する次の問1～18に答えよ。

1. ギリシアのミケーネ文明が用いた線文字Bの解読に初めて成功したイギリス人の建築家の名をしるせ。
2. アケメネス朝ペルシアの建国者の名をしるせ。
3. 戦国の七雄のうち、現在の北京を含む地域を支配下に置いた国の名を、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。  
a. 燕                      b. 魏                      c. 齊                      d. 趙
4. 蘇秦が説いた、この6カ国による同盟策の名を、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。  
a. 合縦（合従）      b. 非攻                      c. 放伐                      d. 連衡
5. スパルタの独特な軍国主義的な制度を確立したとされる人物の名をしるせ。
6. 紀元前7世紀に、アテネの慣習法の成文化をはじめて行ったとされる人物の名をしるせ。
7. この同盟を結ぶために、ポリスの代表が招かれた都市の名をしるせ。
8. 1951年にアメリカと軍事援助条約を結んだ東南アジアの国の名をしるせ。
9. アポロンの神託で有名な神殿のあるギリシア中部の地名をしるせ。
10. 革命期のフランスは、内外の反革命勢力を一掃するために対外進出を行った。これに対抗して、1793年第1回対仏大同盟がつくられた。この同盟を提唱したイギリスの首相の名をしるせ。

11. 冷戦期には米ソとその同盟国が相互に対立しただけでなく、各国内においてもイデオロギーをめぐる対立が発生した。アメリカで、知識人や公務員の共産主義思想を追及する「赤狩り」と呼ばれる運動を主導した共和党所属の上院議員の名をしるせ。
12. 国際連盟からは大国が次々と離れていった。以下の出来事 a～dのうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- a. イタリアが国際連盟を脱退した
  - b. ソ連が国際連盟から除名された
  - c. ドイツが国際連盟を脱退した
  - d. 日本が国際連盟を脱退した
13. 国際連合の機関でないものを、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 国際赤十字社
  - b. 国際通貨基金
  - c. 国際労働機関
  - d. 世界保健機関
14. これに関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. ヨーロッパ連合の前身であるヨーロッパ共同体は、1973年に拡大したが、その際に加盟した国でないものを、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
    - a. アイルランド
    - b. イギリス
    - c. スペイン
    - d. デンマーク
  - ii. 1992年にヨーロッパ連合の創設を定めた欧州連合条約を、その条約の内容に関する会議が行われた都市の名をとって何と呼ぶか、その名をしるせ。
15. スイスの永世中立を認めたウィーン会議で議長を務めたオーストリアの外相の名をしるせ。
16. 平和五原則の内容に含まれないものを、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 基本的人権と国連憲章の尊重
  - b. 内政不干涉
  - c. 平等と互恵
  - d. 領土保全と主権の尊重
17. この開催を提唱したひとりに、当時のユーゴスラヴィアの指導者がいる。この指導者の名をしるせ。

18. 中国の経済成長に関する次の問 i ~ iii に答えよ。

i. 中国では1950年代に急速な経済成長を目指し、大衆動員による急激な社会主義建設の運動を行ったが、多大な犠牲を出して失敗した。この運動の名をしるせ。

ii. 「四つの現代化」政策は、中国に急速な経済成長をもたらしたが、この政策における現代化の四分野に含まれないものを、次の a ~ d から1つ選び、その記号をマークせよ。

a. 工業            b. 国防            c. 商業            d. 農業

iii. 中国の経済成長は周辺国にも影響をあたえた。中国と同様に共産党の支配が続くベトナムで1986年に開始された、「刷新」を意味する市場開放などの政策の名をしるせ。

II. 次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

ヨーロッパでは、10世紀後半頃より宗教意識が高まった結果のひとつとして、十字軍がはじまった。1095年、当時の教皇（イ）はフランスのクレルモンで、十字軍への参集を求める説教を行った。この十字軍は、イスラーム教徒の支配下にあった聖地イェルサレム<sup>1)</sup>を、再度キリスト教世界に回復することを目的としていた。その後十字軍は、フランス王（ロ）の主導ではじまった、1248年と1270年の遠征まで、約2世紀にわたり持続することになる。

一般的にわたしたちが十字軍として思い起こすのは、この聖地十字軍である。しかしながら十字軍の本質を、教皇による、キリスト教世界の保持や拡大のための呼びかけ<sup>2)</sup>に行われる戦闘行為と考えるならば、十字軍は聖地十字軍のみに限定されない。ひとつは聖地以外へのキリスト教世界の拡大を目指す非聖地十字軍であり、もうひとつは非キリスト教徒や異端に対し積極的に戦闘を仕掛ける後期十字軍である。

非聖地十字軍は2つの方面に展開した。一方はバルト海であり、もう一方はイベリア半島である。バルト海の十字軍は、キリスト教化されていないバルト海沿岸部の人々をキリスト教に改宗させることを目的とし、14世紀にポーランドと連合したりトアニア大公国の改宗によって完了した。イベリア半島の十字軍は、イスラーム教徒の地を徐々に奪いかえし、1492年に最後の都市（ハ）を陥落させることで完了した。

後期十字軍の最大の標的は、13世紀以降台頭しつつあったオスマン帝国であった。オスマン帝国は、1453年にビザンツ帝国を滅亡させたのち、1529年と1683年の2度にわたり（ニ）を包囲するまでに拡大したが、その後、次第にヨーロッパ諸国に侵食された。異端に対する十字軍は、カタリ派に対する十字軍のように以前より試みられていたが、14～15世紀にかけて教会制度を批判したプラハ大学の神学教授（ホ）に追随する集団に向けた弾圧や、プロテスタント諸国<sup>4)</sup>に対する戦いも、広義の十字軍と理解することができる。教皇やカトリック諸国は、1588年にスペインとイングランドのあいだで行われた（ヘ）<sup>5)</sup>戦争もまた、正統な十字軍と見なしていた。

近代以降、教皇が主導する十字軍はもはや存在しない。しかし「十字軍」という言葉<sup>6)</sup>はなお現代社会に残っている。

A. 文中の空所(イ)～(ヘ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～6)にそれぞれ対応する次の問1～6に答えよ。

1. この都市をかかえるパレスチナに、ユダヤ人が国家を建設しようとした運動を何と呼ぶか、その名をしるせ。

2. これに関する次の文を読み、文中の空所<あ>にあてはまる適当な語句をしるせ。

教皇は十字軍への参加と引き替えにく あ >を参加者に与えている。16世紀初頭には、教会建設のためにく あ >状を発行した教皇に対し、ルターが批判を行った。

3. この国に関する記述として正しくないものを、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a. 16世紀後半のヤゲウォ朝の断絶後、貴族による選挙王制が行われた

b. 18世紀末のこの国の分割に対し、コシュートが武力闘争を行った

c. 20世紀前半に独ソ不可侵条約の付属秘密議定書で、この国の分割が約束された

d. 20世紀後半にワレサ率いる労働者が自主管理労働組合を結成した

4. セリム2世以降のオスマン帝国が西洋諸国に与えた通商特権や領事裁判権などを総称して何と呼ぶか、その名をしるせ。

5. ルター派を選択したドイツ諸侯は、みずからが領内の教会の首長となって教会や聖職者を管理下に置く制度をとった。この制度の名をしるせ。

6. 2001年9月11日のアメリカ同時多発テロに対して、当時のアメリカ大統領は対テロ報復攻撃を十字軍になぞらえた。その大統領は誰か、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a. ジミー＝カーター

b. ジョージ＝W・ブッシュ

c. ビル＝クリントン

d. ロナルド＝レーガン

Ⅲ。次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

すでに起こった出来事のある種の価値観のもとに整序して記録し、そこに意味を与えることを歴史叙述という。この歴史叙述の伝統は、ユーラシア大陸の西方においては小アジア出身の歴史家（イ）による、ギリシアとペルシアとの戦争の記録に、東方においては漢の（ロ）による、支配者の伝記と事績の記述である『史記』にさかのぼる、とされている。ユーラシアの東西に位置するそれぞれの文明圏においては、この両者の確立した記述形式と視点におおよそのとりながら、近代にいたるまで歴史叙述が実践されている。

7世紀にアラビア半島で生まれ、その後拡大したイスラーム世界では、上述の両文明圏とは異なる歴史叙述の伝統が形成された。その特徴のひとつはムハンマドがメディナに移住した年を出発点とするヒジュラ暦を踏まえることであり、もうひとつは急速に拡大する支配領域にあわせて叙述範囲が大きく変化することである。その結果として、様々な地域の情報を収集して記述する地理書の編纂も盛んとなり、その成果が歴史書にも取り入れられた。（ハ）川のほとりに建設されたバグダードにおいては、9世紀から11世紀にかけて多数の地理書や歴史書が著された。

イスラーム世界の特徴的な14世紀の歴史書を2つあげておこう。ひとつは、（ニ）国のラシード＝アッディーンにより編纂された『集史』である。多数の美しい細密画をともなう版本で知られる本書は、ユーラシアを広く支配し宗教的に寛容であったモンゴル帝国ならではの歴史書である。そこにはイスラーム諸王朝の歴史だけでなく、キリスト教世界であるヨーロッパの歴史や仏教時代のインドの歴史も含まれていた。もうひとつは、チュニスで生まれた歴史家（ホ）による『歴史』である。三部構成のうち、序文と第一部をあわせたものが『歴史序説』と呼ばれているが、第二部ではアラブ人の歴史に加えて、「ナバタイ人、シリア人、ペルシア人、イスラエル人、エジプト人、ギリシア人、ローマ人、トルコ人など」の歴史についても論じた。ユーラシア世界を広く俯瞰したこの2つの歴史書は、ナショナリズムを背後に持つ国家別の歴史である一国史とは対照的な、複数の文化や文明をひとつの視点で叙述する世界史のさきがけと言って良いかもしれない。



A. 文中の空所(イ)～(ホ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～8)にそれぞれ対応する次の問1～8に答えよ。

1. 東の文明の中心である中国の諸制度に影響を受けた大越国は、漢字に基づく独自の文字を考案した。この文字を何と呼ぶか、その名をしるせ。
2. 7世紀の世界の出来事に関する記述として正しくないものを、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
  - a. イベリア半島に後ウマイヤ朝が成立した
  - b. シュリーヴィジャヤ王国が成立した
  - c. 唐と新羅の連合軍が高句麗を滅ぼした
  - d. ヘラクレイオス1世がビザンツ皇帝に即位した
3. 1038年に成立したセルジューク朝は拡大を続け、中央アジアから地中海にいたる支配領域をつくりあげた。この王朝につかえる官僚が採用した行政言語を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
  - a. アラビア語
  - b. ソグド語
  - c. トルコ語
  - d. ペルシア語
4. 美術面でも、イスラーム世界ではさまざまな要素が発展した。この文化に属する建造物や書籍を飾るイスラーム世界に特徴的な文様を何と呼ぶか、その名をしるせ。
5. 広大な領域を支配したモンゴル帝国では、銀の他に紙幣を流通させることで商業を振興させた。この紙幣を何と呼ぶか、その名をしるせ。
6. この時代に結集<sup>けっしゅう</sup>された仏典を求めて、様々な国から人々がインドを訪れた。5世紀頃に東晋から訪れ、『仏国記』を著した僧の名をしるせ。
7. この民族が建設した王国は前10世紀に南北に分裂した。前722年に、北側の王国を滅ぼした国を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
  - a. アッシリア
  - b. ヒッタイト
  - c. ミタンニ
  - d. リディア
8. この動きを背景として、1870年にイタリアは統一された。その後イタリアが、本来自国の領土であったとして回復を要求しつづけた【未回収のイタリア】に含まれる地域を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
  - a. サルデーニャ
  - b. シチリア
  - c. トリエステ
  - d. ピエモンテ

【以下余白】